

羅針盤 (進路便り)

京都市立梅津中学校
第 1 7 号
R6. 1 2. 3

願書を書こう

◎受験への準備

12月に入りました。さて、本日は願書書きの練習をします。先日の自己PR書に書いてもらったように、住所、保護者氏名、電話番号など正確に、楷書で書くようにしましょう。今日、書いてもらう願書は練習です。鉛筆で書いてみましょう。

本番は、鉛筆書きで下書きの上、ボールペンで上書きしてもらいます。

☆ 願書 受験をする際、自分自身（人物）よりも先に高校側に見てもらう書類です。楷書で丁寧に書くことを心がけましょう。（人となりわかります。）私学ではほぼすべての学校でWEB出願を導入されています。既に各高校のHPからWEB登録、入学願書への必要情報の入力が可能です。12月の懇談後には各家庭でPCやタブレット、スマホなどで入力したものをプリントアウトしてもらいます。受験をしようと思う学校のHPはよく見ておきましょう。マイページの登録が必要です。

☆ 面接練習 年明けから開始します。本番のような雰囲気、限られた時間の中で質問の受け答えをしてもらいます。教室に置かれている過去問をよく見ておきましょう。特に公立前期選抜は『求める生徒像』を必ず読んでおきましょう。

★面接・作文の対策は、時間のあるうちに★

志望校がはっきりしてきた人は、面接や作文のことも気にしているのではないのでしょうか。休み時間、教室にある面接・作文過去問を見て情報を収集している人もいますよね

面接や作文が問いたいのは、「あなた自身」のことです。答えるべきものは自分の中にあります。中学校3年間。人生15年間。そこに感じた喜怒哀楽。何を好きになり、どんなことに打ち込んだのか。大切にしてきた事、価値観、時間を忘れて夢中になったもの、等々。普段、日記を書いたり、トークインの作文にしっかり取り組んでいる人は、作文・面接での得点が高いです。

「自分」とはどんな人物なのか…という人もいると思います。そんな人は、まず自分が経験を書き出したり、友達や先生、保護者に自分の長所/短所などを尋ねたりするなど、自分を掘り下げるところから始めてみてください。時間はかかりますが、効果は大きいです。早め早めに用意していきましょう。

※面接・作文過去問のコピーも、計画的に担任の先生に頼んでおいてください。

志望校の魅力、自分の良さをアピールできるように準備しておきましょう。

◎「入学案内〈京都市・乙訓通学圏〉」について

さらに本日、配布の冊子は京都府の公立高等学校への進学を希望する人のためのものです。表紙には選抜の日程（流れ）や『※**特別事情具申**』について明記されています。内容をご確認いただき、該当する場合は担任通じてご相談下さい。

また中身に関しては、出願や選抜に関する詳しい内容が記載されています。願書の記入は中学校で指導の下、各自がお家で記入することとなります。